

別紙2 ※ 研修テーマ欄の【特設】は、教職員に加え、大学生等が参加する研修講座です。

| 研修テーマ | 定員 | 内容等 | 日程 | 会場 | 講師 | 問合せ先 |
|---|---|---|--|---|--|--|
| 発達障害のある児童生徒の個別指導プログラムの作成・実施・評価・改善 | 30名 | 発達障害のある児童生徒の指導プログラム(実態把握、教材作成、指導と評価)に関する実習など。 ※ フォローアップ研修までの連続参加 | 平成26年7月20日(日)8:30-17:30 (受付開始8:00) 7月21日(月)8:30-16:30 (受付開始8:10) 【フォローアップ研修】 平成26年12月25日(木)9:30-16:30 (受付開始9:00) | 広島大学教育学部C棟203教室 307教室、402教室、629教室、 701教室、L棟202教室 【フォローアップ研修】 広島大学教育学部 C棟203教室、L棟202教室 | 若松昭彦(広島大学) 古田寿子(元小学校特別支援学級教員) 廣澤清子(同上) | 特別支援教育学講座 若松昭彦 電話082-424-7172 E-mail awakama@hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒のICT活用による支援I・II【特設】 | I:30名 II:30名 ※ この他学生20名を予定 | タブレット型情報端末導入の際の基本的な考え方や留意点、実際の扱い方、授業での応用、実践報告を実施することで、学生及び現職教員が発達障害等のある児童生徒の教育におけるICT活用に必要な知識と技能を身に付ける。 ※ IとIIの連続参加が望ましい。 | I:平成26年8月12日(火)9:00-18:20 (受付開始8:30) II:平成26年12月23日(火)9:00-18:20 (受付開始8:30) | 広島大学教育学部L棟204教室 | I・II:平林ルミ(東京大学先端科学技術研究センター) II:高松 崇(NPO法人支援機器普及促進協会) | 特別支援教育学講座 氏間和仁、林田真志 電話082-424-7175 E-mail ict@ujilab.hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒の保護者支援に関するワークショップ【特設】 | 60名 ※ この他学生60名を予定 | 発達障害のある児童生徒の保護者と教師が連携・協働するための方途など。 | 平成26年8月19日(火)9:00-16:40 (受付開始8:30) | 広島大学教育学部K棟108教室 | 若松昭彦(広島大学) 古田寿子(元小学校特別支援学級教員) 保護者 | 特別支援教育学講座 若松昭彦 電話082-424-7172 E-mail awakama@hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒のキャリア発達を促す教育【特設】 | 60名 ※ この他学生60名を予定 | 発達障害のある児童生徒のキャリア発達を促す教育(キャリアガイダンス、キャリアプランニング)や就労支援に関する現状と課題、学校教育の在り方や就労支援の基本的な考え方を学ぶ。 | 平成26年9月19日(金)9:00-16:30 (受付開始8:30) | 広島大学学生会館 レセプションホール | 梅永雄二(宇都宮大学) 西村浩二(広島県発達障害者支援センター) 渡邊麻美(東京都立足立東高等学校)、 竹林地毅(広島大学) | 特別支援教育学講座 竹林地毅 電話082-424-7178 E-mail chikurin@hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒の在籍する学級の集団づくり | 100名 | 特別活動における話し合い活動やリーダーの育成などを通じた学級集団づくりについて、演習・協議を交えながら実践的に学ぶ(I)。 フォローアップ研修(II)。 ※ IとIIの連続参加が望ましい。 | I:平成26年9月30日(火)9:00-16:40 (受付開始8:30) II:平成26年12月26日(金)9:00-16:40 (受付開始8:30) | I:広島大学教育学部 L棟205教室 II:広島大学教育学部 L棟204教室、205教室 | I:赤坂真二(上越教育大学) 若松昭彦(広島大学) II:池田 隆(広島県立教育センター) | 特別支援教育学講座 若松昭彦 電話082-424-7172 E-mail awakama@hiroshima-u.ac.jp |
| 保護者等関係者の連携・協力を促進するためのファシリテーションスキル(ワークショップ)I・II【特設】 | I:30名 II:30名 ※ この他それぞれ学生30名を予定 | 学校内での協働、学校教育関係者と関係機関の連携・協力を実現し、創造的な問題の解決を組織的に進めて行くための考え方や関係者のスキル等について演習を通じて学ぶ。 ※ I:基礎編 II:応用・発展編(Iの受講者及び昨年度の受講者対象) | I:平成26年11月8日(土)10:30-16:30 (受付開始10:00) II:平成26年12月20日(土)10:30-16:30 (受付開始10:00) | 広島大学中央図書館 ライブラリーホール | I:竹林地毅(広島大学) II:三田地真実(星槎大学)、 竹林地毅(広島大学) | 特別支援教育学講座 竹林地毅 電話082-424-7178 E-mail chikurin@hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒の教科の授業づくりI・II【特設】 | I:40名 ※ この他学生20名を予定 II:40名 ※ この他学生20名を予定 | 発達障害のある児童など特別な配慮が必要な学習者とともに学ぶ算数科や家庭科の授業づくりを学ぶ。 発達障害のある児童など特別な配慮が必要な学習者とともに学ぶ国語科や音楽科の授業づくりを学ぶ。 | I:平成26年12月6日(土)9:00-15:00 (受付開始8:30) II:平成26年12月7日(日)9:30-16:30 (受付開始9:00) | 広島大学教育学部L棟204教室 (受付は教育学部正面玄関にて行います。) 広島大学教育学部G棟205教室 広島大学教育学部L棟204教室 (受付は教育学部正面玄関にて行います。) | I:植田敦三・伊藤圭子・川合紀宗(広島大学) 新迫健司(東広島市立御園宇小学校) 内海みさ(広島市立落合東小学校) 三宅比佐(広島市立久地南小学校) 栗原知恵(三次市立十日市中学校) II:難波博孝・権藤敦子(広島大学) 稲田八穂(筑紫女学院大学) 原田大介(福岡女学院大学) 高倉弘光(筑波大学附属小学校) | 特別支援教育学講座 牟田口辰己 電話082-424-7171 E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp |
| 発達障害のある児童生徒の読み書きの指導I・II — 日米シンポジウム — ※ I・IIとも同一内容 | I:100名 II:300名 | 発達障害のある児童生徒の指導をグローバルな視点から捉えることのできる中堅教員の育成を目指し、先駆的な研究を行っている日米の研究者、国内の実践家を招へいし、最新の研究・実践成果から、読み書きの困難の原因に迫るとともに、教員が取り組むことのできる指導や合理的配慮の具体についての話題提供や議論を通し、読み書き指導のあり方を考える。 | I:平成26年12月13日(土)9:30-17:30 (受付開始9:00) II:平成26年12月14日(日)9:30-17:30 (受付開始9:00) | I:広島大学東京オフィス 国際会議室(東京都港区) II:広島JA会館 講堂 (広島市中区) | Dr. Karen Harris (Arizona State University) Dr. Steve Graham (Arizona State University) 宇野 彰(筑波大学) 実践報告者 I:中村勝則(東京都墨田区立柳島小学校) II:富永美智子(福岡県春日市立春日北小学校) | 特別支援教育学講座 牟田口辰己 電話082-424-7171 E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp 特別支援教育実践センター川合紀宗 電話082-424-7179 E-mail nkawai@hiroshima-u.ac.jp |